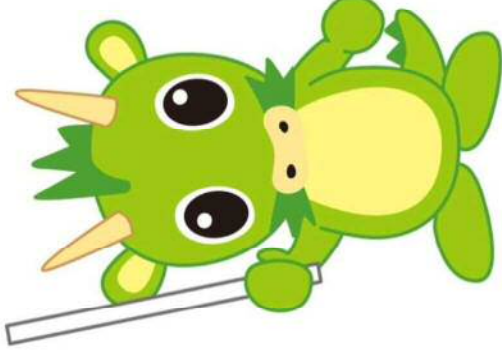


そがくりよくていちやくぼろぐらむ
基礎学力定着プログラム

(国語)

ワークシート (小1・2)



さいたま市立 しりつ	しょうがっこう 小学校	ねん 年	くみ 組
なまえ 名前			

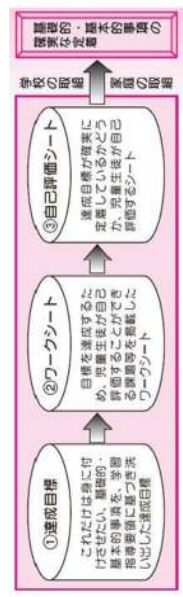
基礎学力定着プログラム(国語)小学校1・2年生自己評価シート

できるようになったら、「確認」に○を付けましょう。

達成目標		確認
1	ひらがなとかながなをかたかなをひらがなとかながなで書いたり、文の中でつかうことができるようにしよう。	ワーキングシートはありません
2	しせいや用ぐのもち方を正しく、文字の形にちゅういしながら書いてねいに書くことができるようにしよう。	
3	「いつ、だれが(何が)、何をした(どんなだ)」が分かる文を書くことができるようにしよう。	
4	のぼすおん(ちよう音)、ちいさい「や、ゆ、よ」(よう音)、ちいさい「っ」「そく音」、「ん」(はつ音)や「は」「へ」「を」を正しくつかえるようにしよう。	
5	じゆんじよを考えながら、つながりのある文しよを書けるようにしよう。	
6	ひとまとまりのこや文として、はっきりとしたはつ音で、声に出して読むことができるようにしよう。	
7	じゆんじよを考えながら、内しよを読むことができるようにしよう。	
8	やさしい読みものにきょうみをもつて、楽しく本を読みましよう。	
21	原こう用紙のつかい方を理かいし、正しくつかうことができるようにしよう。	
22	でんどうてきな言語文か	
23	かん字をかん字で読んだり、書いたりすることができるようにしよう。	

「基礎学力定着プログラム」とは
(本プログラムの目標)

このプログラムは、さいたま市の子もたちが、基礎的・基本的事項を確実に身に付けることを願って策定しました。
これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標としています。
漢字の読み書きや乗法九九など、これだけは身に付けさせたい知識や技能に焦点を当て、基礎学力の確実な定着を図るためのプログラムです。

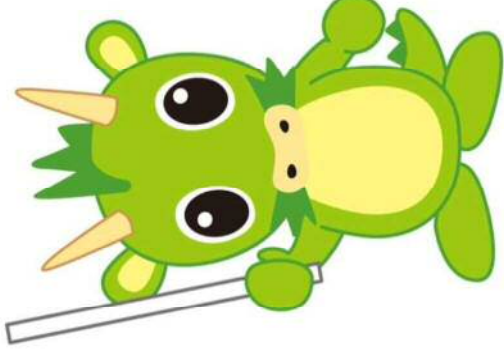




きそがくりよくていちやくばろろぐぐららむ
基礎学力定着プログラム

(国語)

ワークシート (小3・4)



さいたま市立 <small>しりつ</small>	しょうがっこう 小学校	ねん 年	くみ 組
なまえ 名前			

基礎学力定着プログラム(国語)小学校3・4年生 自己ひょうかシート

できるようになったら、「かくにん」に○をつけましょう。

学年番号	達成目標		かくにん
9	ローマ字 (3年生)	ローマ字を読んだり書いたりすることができるようにしましょう。	
10	書く	書こうとすることをはっきりさせ、だん落を考えて、文章を書くことができるように しましょう。	
11	書く	相手に伝えたいことがよく分かるように、手紙を書くことができるようにしまし ょう。	
12	しよ 辞書を使う	辞書を使って、いつでも言葉や漢字の使い方や意味を調べることができるよう にしましょう。	
13	読む	各だん落の内ようやつながりを考えながら、事実と意見をくべつとして文章を読 むことができるようにしましょう。	
14	読む	場面の様子がよく分かるように、声に出して読むことができるようにしまし ょう。	
15	読書の窓口	いろいろな分野の本にきょうみをもって、楽しく読みましょう。	
21	原こう用紙の 使い方	原こう用紙の使い方を理かいし、正しく使うことができるようにしまし ょう。	
22	でん 伝とう的 な か 言語文化	声に出して、昔話や古典を読み、そのリズムを味わいましょう。	
23	かん 漢字	漢字を読んだり、書いたりすることができるようにしまし ょう。	

「基礎学力定着プログラム」とは
(本プログラムの目標)

このプログラムは、さいたま市の子どもたちが、基礎的・基本的事項を確実に身に付けることを願って策定しました。
これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標としています。
漢字の読み書きや乗法九九など、これだけは身に付けさせたい知識や技能に焦点を当てて、基礎学力の確実な定着を図るためのプログラムです。

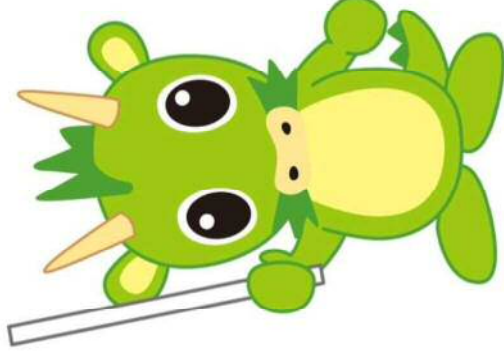




基礎学力定着プログラム

(国語)

ワークシート (小5・6)



さいたま市立		小学校	年	組
名前				

基礎学力定着プログラム（国語）小学校5・6年生自己評価シート
 目標が達成できたら、「確認」に○を付けましょう。

学年番号	達成目標		確認
16	書く	事実と自分の意見を区別して、まとまった文章を書くことができるようにしましょう。	
17	書く	目的に応じて、様々な様式の文章を書くことができるようにしましょう。	
18	読む	人物の心情や表現のよさなどを味わいながら読むことができるようにしましょう。	
19	読む	文章全体から、様々な情報や書き手の考えを読むことができるようにしましょう。	
20	読書の窓口	目的に応じて、進んでいろいろな分野の本を読みましょう。	
21	原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方を理解し、正しく使うことができるようにしましょう。	
22	伝統的な言語文化	声に出して、昔話や古典を読み、そのリズムを味わいましょう。	
23	漢字	漢字を読んだり、書いたりすることができるようにしましょう。	

「基礎学力定着プログラム」とは
 (本プログラムの目標)

このプログラムは、さいたま市の子もたちが、基礎的・基本的事項を確実に身に付けることを願って策定しました。
 これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標としています。
 漢字の読み書きや乗法九九など、これだけは身に付けさせたい知識や技能に焦点を当てて、基礎学力の確実な定着を図るためのプログラムです。

